



お漬物も「旬のものを旬の時期に」

～堺共同漬物（株）見学～

10月24日 大東市・三箇パル委員会 20名参加

堺市にある堺共同漬物は、府下の契約農家と協力しながら「なにわの伝統野菜」をお漬物として守り・広めることに力をいれています。生協とは30年以上のお付き合いです。

入荷した“かぶら”は、丁寧に手作業で皮むきや選別が行なわれ、浅漬けにされていました

組合員さんからは「どれも丁寧に手作りされていて、原料も大切に育てられた野菜たちで、安心しました」「漬物大好きだから、塩分が意外と低くて、手軽に野菜を摂れることもわかって良かった」など感想がだされていました。

お正月もお漬物で食卓を彩りませんか？

お正月用のお漬物は12月5回の注文書で



冷蔵
**お正月浅漬セット
 3種 (300g)**
 12月5回 398円



冷蔵
**紅白菊花かぶセット
 100g×2**
 12月5回 498円



冷蔵
**迎春お漬物詰合せ
 3種 3品**
 12月5回 580円



貝塚市で10種類以上の伝統野菜を作る長谷川さん（真ん中の男性）。「伝統野菜は水やりなど育てるのが難しいけど、その土地に合う昔からある品種で、味など個性が強くて面白いですよ」と



組合員活動のコーナー

「くらし」の4つの柱にそって各地域で多彩な取り組みが行われています。

組合員活動は「食」「平和」「環境」「くらし」の4つの柱にそって各地域で多彩な取り組みが行われています。



NO.44

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

被災地では2011年8月、「避難所」から「仮設住宅」へ移り、2年以上が経ちました。当初、仮設住宅の居住期限は2年間と決められましたが、今年の夏までに転出された世帯は7%のみ（岩手県）という状況です。理由の多くは、①引越して高台などの場所が確保できていない②先々の収入への不安があり公営住宅（建設中）の家賃の負担感、などと聞きます。そのため、仮設住宅の居住期限は4年間（2015年までに）延長（再契約）されました。

仮設住宅で3度目の冬を迎えている被災者の皆さんは高齢者の方が多く、交通手段や体調面など、表に出て行かなくても出られない方々への、地域の医療や介護の連携（訪問ケア）など、きめ細かな対応が必要と痛感しています。今後ますますNPOなどの「共助」、自治体や国の「公助」それぞれの役割が問われていると感じています。

(NPO遠野まごころネットに常駐する
 パルコープボランティア事務局・林さんより)

遠野まごころネットのホームページは<http://tonomagokoro.net/>



ずっとボラの会（ボランティアバス参加者の有志の会）活動だより

11月10日（日）の「東北応援グッズ販売」を東都島店で行い、参加者は17名、売上は37,200円、募金は6,902円お預かりしました。また11月24日（日）は星ヶ丘店で行い、参加者は8名、売上は43,430円、募金は9,221円お預かりしました。売上金と募金は東北支援募金へ入れさせていただきました。今年は12月8日の忍ヶ丘店で最終でした（報告は次号）。来年の活動予定が決まりましたお知らせします。

パル・よどがわ・なら
 組合員さんの

2013年度 第11回 岩手ボランティアバス報告

第11回・11月1日～4日 63名参加

2013年度のべ660名

第11回のボランティアバスは、祝日ということもあり、学生さんが多く参加されました。到着日は農作業と被災地視察。また翌日の宮古地域「復興応援まつり」に向けて「たこ焼作り」の練習も行いました（まつりの様子は1ページ）。

夕食後、翌日に備えて練習→



地域の学童保育などの子どもたちと芋掘りの農作業

初めて参加しました。被災地の皆さんが前を向いて生きるのにボランティアの励ましが役に立っている。しかし行政の復興事業の進捗は極めて遅く、住民の意見が伝わりにくいこと・仮設住宅で多くの人が長期に

わたりに不便な生活を強いられること・多くの人が避難所で被災したり、津波への適切な判断ができず市役所で多くの人命が失われており、防災は行政任せではだめであること・学校の先生の判断が子どもたちの命を左右した。岩手の方が教えられませんでした。被災地へ来ておられる姿に東北人の粘り強さを見た思いがします。これからも応援していきたい。

(四條畷市・横溝さん)

～ 2013年 岩手 被災地職員ボランティア活動 ～

【第7陣】10月21日～26日 パルコープ職員7名

中村さん（平野支所チームリーダー）、駒走さん（物流センター）、松本さん（鶴見支所で配送担当）、下浦さん（サービス事業部）、瀬藤さん（鶴見支所）、上田さん（鶴見支所）、周さん



焼くの初めて！
 楽しいねえ

何かお困りなことがありますか？

仮設住宅でのたこ焼パーティと移動販売車“こちゃん号”のお手伝い

2年前に訪れた記憶と大きく変わったことに驚きました。陸前高田市はいろいろなお店ができており、少しずつですがそこに生活というものが成り立っている事を感じました。そして沿岸部では防潮堤の建設も含めて建設ラッシュと言え程の重機とひっきりなしに行き交う大型トラックが町を取り戻そうとしている力を感じました。しかし、移動販売の車に同行した時に、仮設住宅から復興住宅に移っていない方も多くおられると聞きました。ハコモノは少しずつ揃っていていると思いますが、そこで暮らしている人への援助はまだ足りていないのだと感じました。（港支所で配送担当・周さん）

パル子のお店新発見

おおさかパルコープには8つのお店があります。今回は枚方公園店での「小学生見学会」におじゃましました。



魚おっさい！

お魚は1尾丸ごとで店に入るので、さばいて切身にしますよ

枚方公園店ができて5年。毎年、近所の枚方小学校から3年生が全員で見学に来られます（今年は10月29日に3年生120名と先生方）。グループに分かれて、店内と外は入れないバックヤード（売場の裏の作業場など）も見学。魚や肉、惣菜などの加工やパック作業を見たり、商品保管用の業務用冷凍冷蔵庫をのぞいてみたり。子どもたちは、初めて見ることや体験することに楽しそうな様子でした。

小学3年生の皆さんが見学に！
 勉強になったかな。

来店された組合員さんにはお騒がせしました。ご協力いただきありがとうございました。

来店された組合員さんにはお騒がせしました。ご協力いただきありがとうございました。



お肉を切るのも、パック詰めも、お店の裏でやってるんだね



京阪本線「枚方公園」駅から徒歩8分

〒573-0035
 枚方市高塚町25-25
 ☎072-844-6690
 営業時間 AM9:00～PM10:00
 駐車場有 54台

【パルコープのお店ご利用は】共同購入の組合員さんなら、各店舗サービスカウンターで無料で「ばるんカード」をお作りします。その日のお買物分からポイントがつき、パルコープの全ての店舗共通でご利用できます。

【パルコープのお店情報：今週のチラシ情報はHPをご覧ください】 <http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

※ ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>
 ※ ボランティアバスの募集案内はホームページに掲載しています。http://www.palcoop.or.jp/pal_news/information/tour2.html